

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	此花区
学校名	西島小学校
学校長名	山西 勝仁

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・西島小学校では、第6学年 53名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・国語の平均正答率は、60%で全国平均と比較して6.8ポイント低い。前回調査では、全国との差が9.7ポイントであったため、その比較においては2.9ポイント高くなつた。
- ・算数の平均正答率は、48%で全国平均と比較において10ポイント低い。前回調査では全国平均との差が3.4ポイント低い結果であったので、その比較においては6.6ポイント低くなつた。
- ・平均無回答率は国語が3.7%、算数が4.7%、理科が4.6%であった。無回答率について、全教科とともに全国平均よりも高い結果となつた。国語科については前回調査で0.1ポイント差だったものが0.4ポイント差、算数科については0.8ポイント差が0.1ポイント差とその差が少し広がつた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

- [国語] 平均正答率は、60%で全国平均と比較して6.8ポイント低い。全国との差を見ると昨年度よりその幅は小さくなっているので研究教科としての学習成果があがつているとみられるが「書くこと」の平均正答率が全国平均より11ポイント低いことが課題である。
- [算数] 平均正答率は、48%で全国平均と比較において10ポイント低い。前回調査で全国平均との差が縮まつたが、今年度調査では差が広まつた。特に「図形」の領域で全国より10.4ポイント低く、今後の課題である。
- [理科] 平均正答率は47%で、55%の大坂市や57.1%の全国平均正答率と比べておよそ10ポイント低い。特にB区分の問題の正答率が低い。
- [平均無回答率] 国語が4.3%、算数が4.2%、理科が4.6%であった。どの教科も4%を越えており問題に取り組む姿勢を養つていく必要がある。

質問調査より

- ・自己肯定感を問う質問に対して肯定的な回答をする児童の割合について、「自分には、良いところがあると思いますか」の問い合わせに対しては84.0%で全国平均とほぼ同じ値となつてゐる。(昨年度82.4%) また、「将来の夢や目標を持っています」の問い合わせでは90.3%でこちらは全国平均を大きく上回つた。(昨年度82.4%) キャリア教育として外部から講師を招き出前授業などいろいろな経験を聞いたり、体験してきた成果であると考える。
- ・昨年度に続き、家庭での学習時間が全国平均よりも極端に短く、土日の学習時間が1時間以下が全国では52.7%であるのに対して本校では71.1%となつてゐる。家庭学習の充実を図る取り組みを今後も継続して進めていく必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

- ・現在、本校では国語科を中心に研究主題を『対話を通して学びあう児童の育成～国語科「読む」領域における、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり～』として学力向上に力を入れてゐる。今年度から研究授業・研究討議の回数を3回から5回に増やし授業力をつけるために研鑽している。
- ・今年度もスクールアドバイザーと連携して、児童の学力向上のため教員の指導法の改善を図る研修を行つてゐる。国語については徐々にではあるがその成果が出てきているが、「書くこと」「読むこと」の項目では、まだ課題を残す結果となつた。今後も継続して、課題のあった「文章を書く」の指導に重点を置き、指導方法を研究していく。
- ・学習面で支援の必要な児童の基礎的基本的な学習の定着を図るために、放課後学習「西島チャレンジタイム」を開設している。学びコラボレーター・学びサポーターと連携し学習習慣をつけていく。

【 全体の概要 】

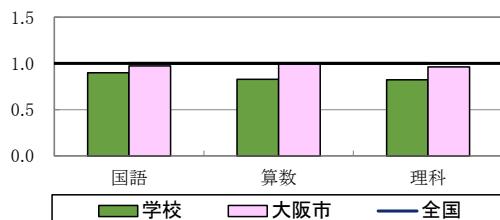
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	60	48	47
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

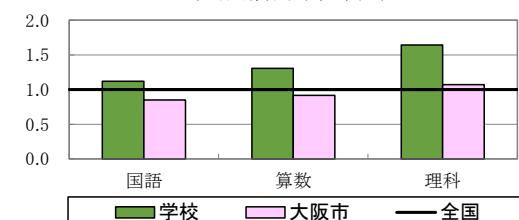
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	3.7	4.7	4.6
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



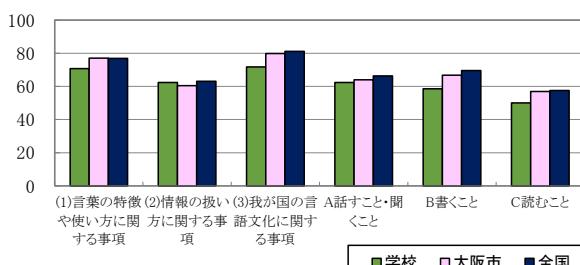
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	70.8	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	62.3	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	71.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	62.3	64.0	66.3
B 書くこと	3	58.5	66.7	69.5
C 読むこと	4	50.0	56.9	57.5

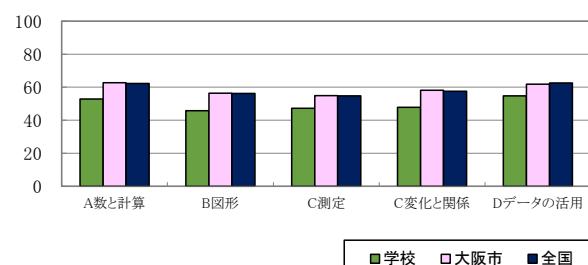
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	52.8	62.7	62.3
B 図形	4	45.8	56.4	56.2
C 測定	2	47.2	54.9	54.8
C 変化と関係	3	47.8	58.2	57.5
D データの活用	5	54.7	61.9	62.6

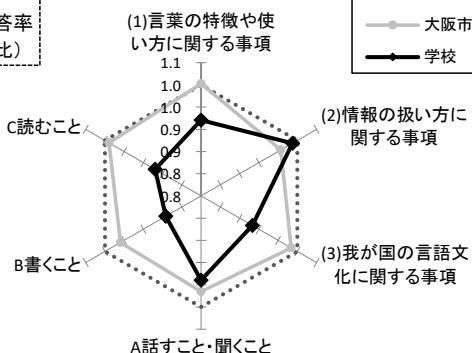
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



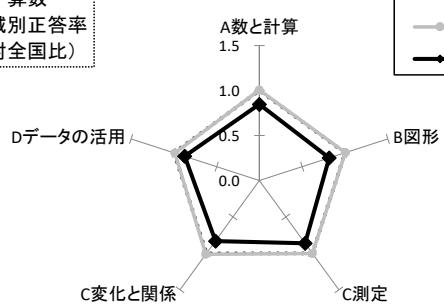
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

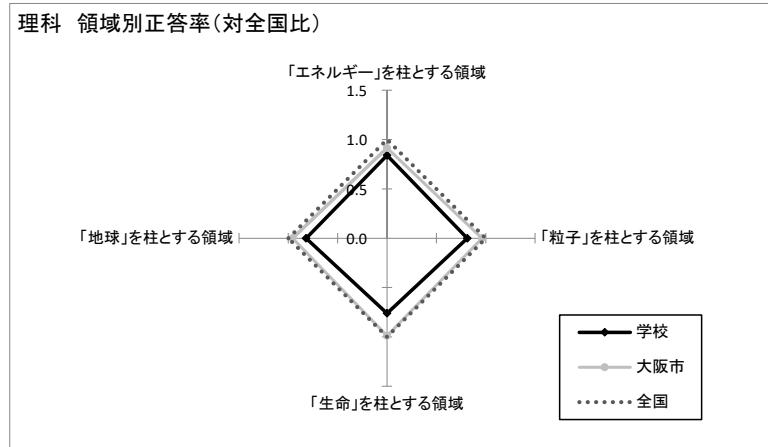
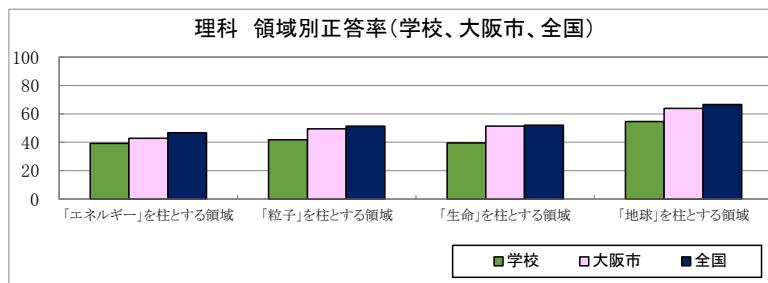


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

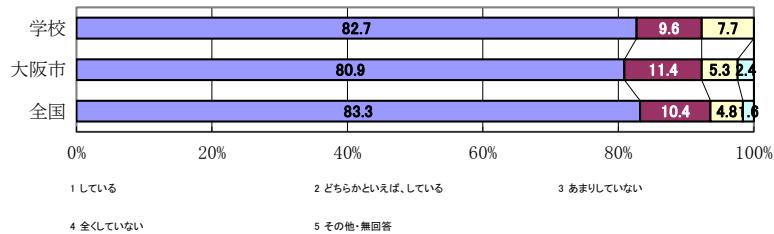
学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	39.2	42.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	41.8	49.5
B 区分	「生命」を 柱とする領域	4	39.6	51.4
	「地球」を 柱とする領域	6	54.7	63.8



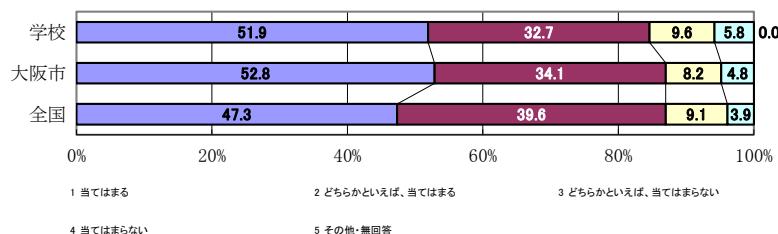
児童質問より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8

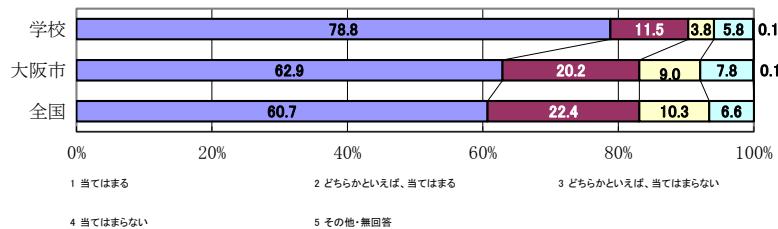
質問番号
質問事項
1
朝食を毎日食べていますか



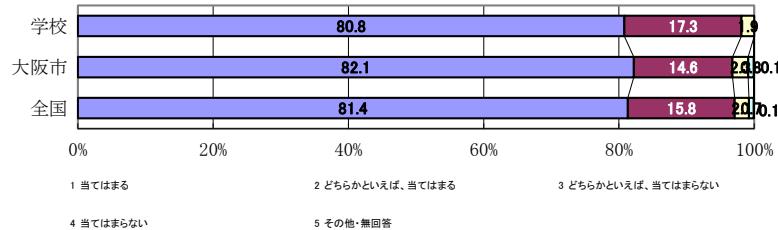
5
自分には、よいところがあると思いますか



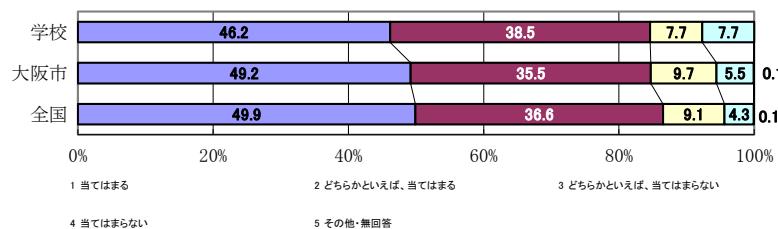
7
将来の夢や目標を持っていますか



9
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



12
学校に行くのは楽しいと思いますか

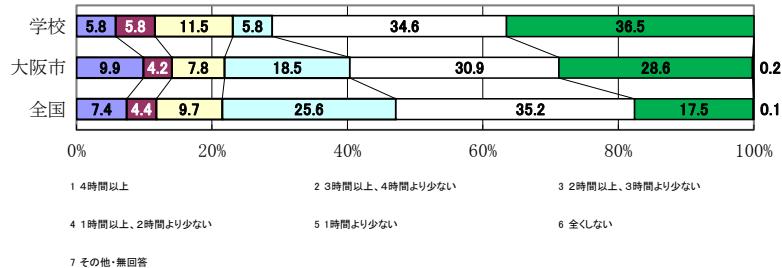


(4-1)

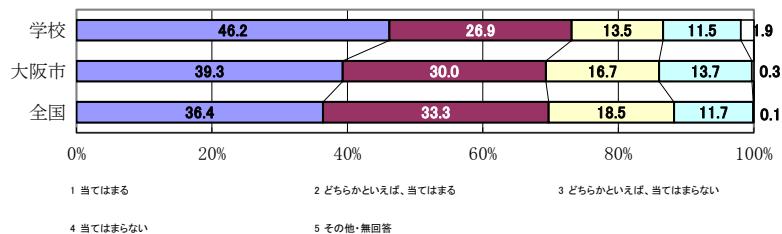
児童質問より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8

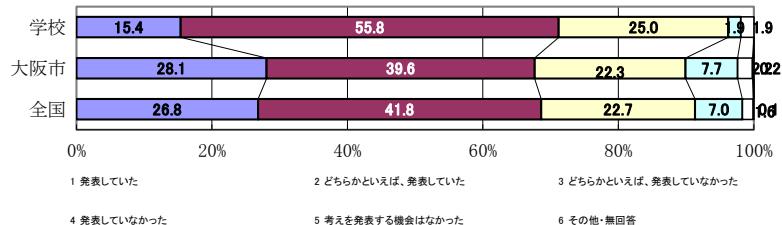
質問番号
質問事項
19
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



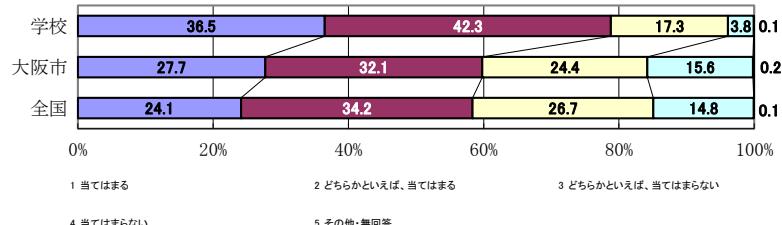
24
読書は好きですか



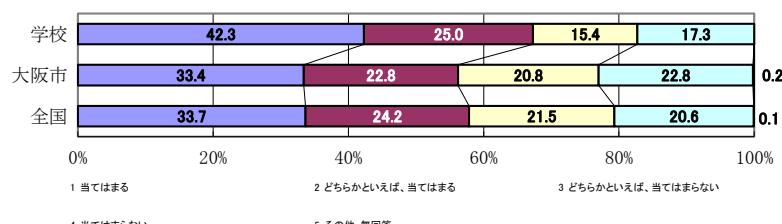
31
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



45
国語の勉強は好きですか



53
算数の勉強は好きですか



学校質問より

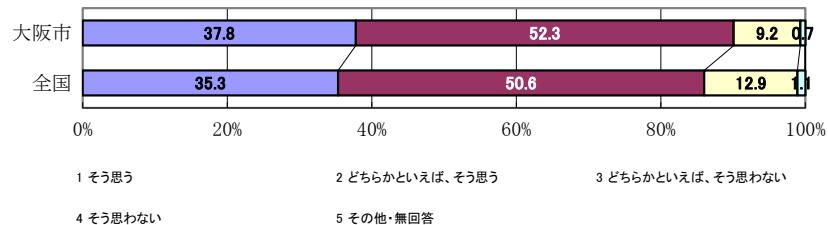
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

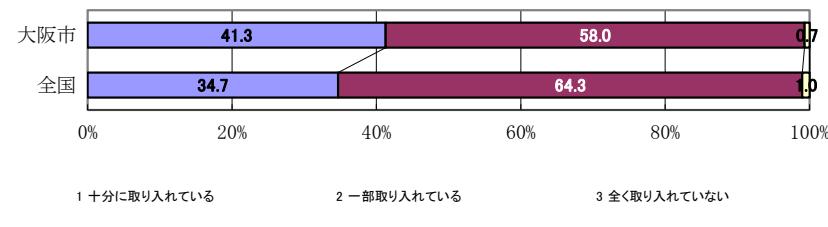
学校 「そう思う」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

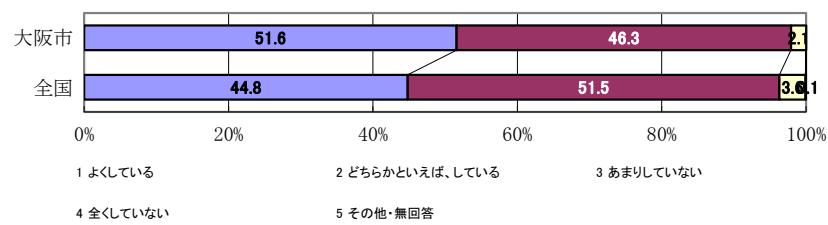
学校 「十分に取り入れている」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

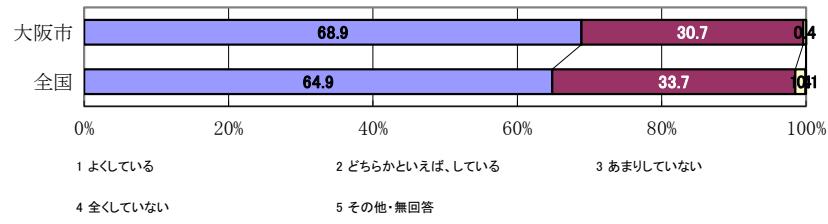
学校 「よくしている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択

